

独立行政法人地域医療機能推進機構

登別病院 新病院のご案内



令和 2 年 4 月開院予定



当院は、整形外科の病院としてスタートしましたが、現在では整形外科に加えて、内科や回復期リハビリテーションにも力を入れており、特に整形外科においては24時間の受入体制を組んでいます。

内科では、主に、肺炎や尿路感染症、心不全や不整脈などの診療を積極的に行い、回復期リハビリテーションでは、主に整形疾患、脳血管疾患に対するリハビリテーションに注力しています。

また、当院では、皆様方の健康をお守りするために健康管理センターを併設し、日帰りドック、脳ドック、一般健診（生活習慣病予防健診）、婦人科健診等を行っています。

【沿革】

昭和21年6月	年金保険厚生団登別整形外科診療所として開設（24床）
昭和31年1月	厚生団登別整形外科診療所と改称
昭和28年1月	現在地に新築移転 厚生年金登別整形外科病院と改称（68床）
昭和47年4月	登別厚生年金病院と改称
平成26年4月	独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院へ組織改称（249床）
平成29年2月	医療法許可病床数の変更（199床）
令和02年4月	新築移転（110床）

～病院理念～

1. 私たちは、健康と命を守ることを使命とし、良質で安全な医療を提供します。（良質で安全な医療）
2. 私たちは、笑顔と真心で患者さまに接します。（笑顔と真心）
3. 私たちは、地域の医療機関と連携を密にし、医療と福祉を推進します。（地域との連携）

登別病院は現在地に移転してから既に63年が経過し、建物・設備の老朽化が顕著になってきています。多くの施設や設備が耐用年数を越えており、その都度、修繕・改修を行ってきましたが、現在の建物では、地域住民への十分な医療サービスの提供が困難となっています。

そこで、将来に渡って継続して地域医療を提供するため、移転新築を行うこととなりました。登別市や登別医師会とも協議を行い、これまで以上に地域に親しまれ、地域医療に貢献できる病院を目指します。

1. 救急医療の強化

登別市内唯一の公的医療機関として、地域における一次救急／二次救急の役割を担います。

医師の体制を強化し、室蘭市内の医療機関（急性期）に搬送されている軽度急性期の救急患者を積極的に受け入れます。

2. 地域包括ケアシステムの推進

開業医・病院、行政との積極的な連携を図り、地域包括ケアシステムの要としての機能を果たします。

3. 建物環境／療養環境の改善

現登別病院は昭和27年の建物をベースに修繕・改修を経たものであり、患者に対する療養環境が十分ではなく、また、患者や職員にとって非効率な動線となっています。

新病院では、患者や家族などの利用者および職員が利用しやすい快適な環境を整備します。

4. 災害対策

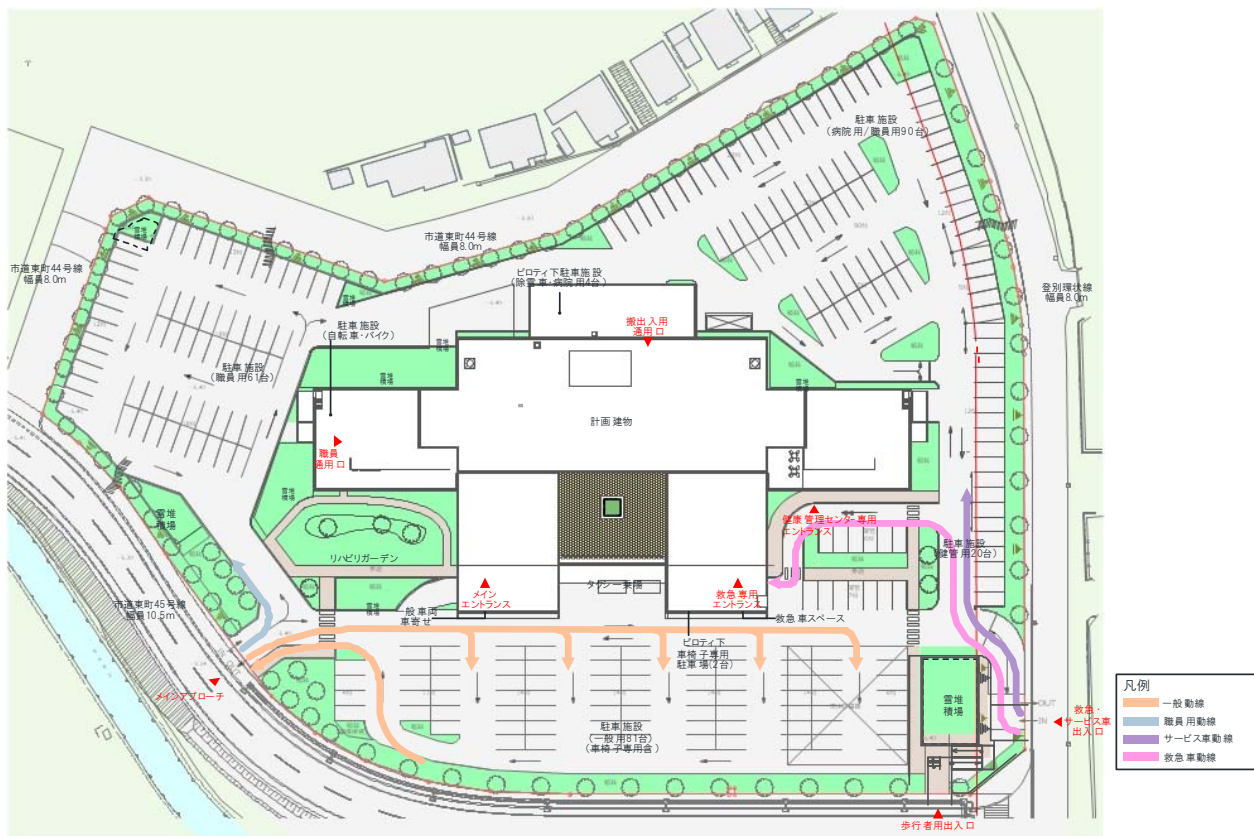
B C P対応を付加した設備計画と備蓄倉庫を完備します。

また、火山・土砂災害時にも有効に機能する軒下車寄せを設置することで災害時にはトリアージスペースとなり、地震／土砂／倶多楽火山等による災害時は『被災者の処置スペース』として機能します。



外観イメージ

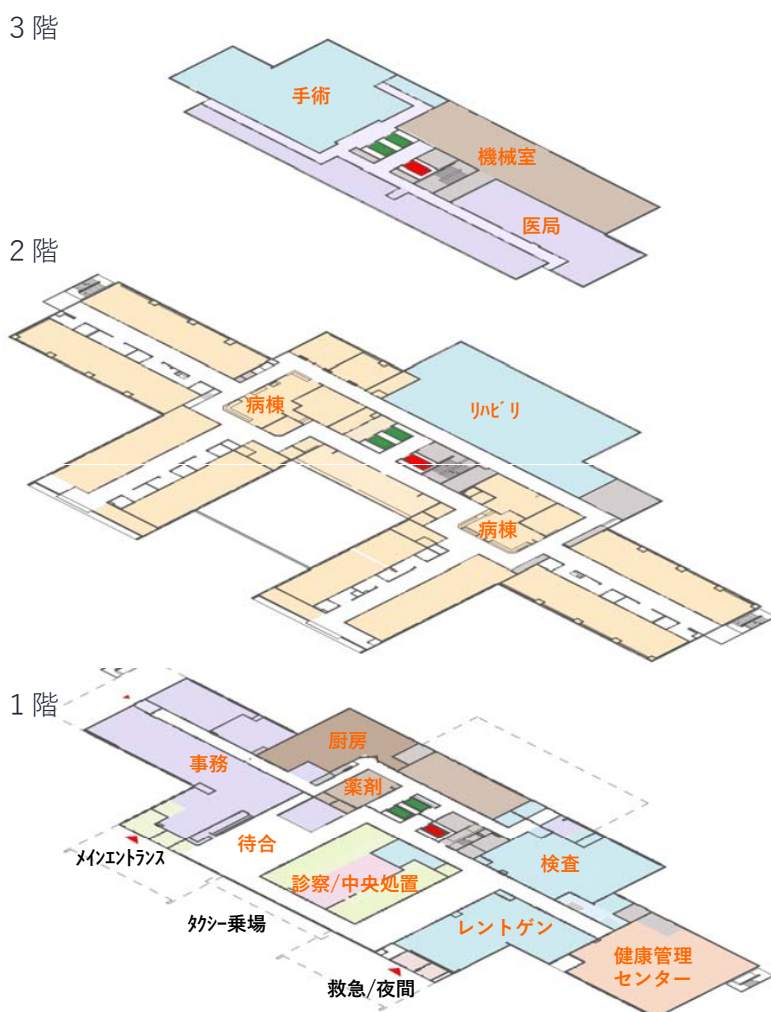
○配置計画



○新病院の概要

- ・計画地 : 北海道登別市登別東町3丁目
(※最終住所は未確定)
- ・敷地面積 : 14,723㎡
- ・構造、階数 : 鉄筋コンクリート造
(耐震構造、杭基礎)
- ・階数、高さ : 地上3階、13.75m
- ・建築面積 : 3,407.35㎡
(建蔽率 23.14%)
- ・延床面積 : 7,440.51㎡
(容積率 48.41%)
- ・診療科 : 7科
整形外科、内科、神経内科、外科、泌尿器科、
麻酔科、リハビリテーション科
- ・病床数
110床
- ・病棟構成
一般病棟55床
(4床室:11室/重症個室:4室/差額個室:7室)
回復期病棟55床
(4床室:13室/差額個室:3室)
- ・駐車台数
256台
(患者用101台/職員・業者用155台)
- ・検査機器 [開院時更新]
: MRI装置 (1.5T)
: マルチスライスCT (16列)
: 乳房X線撮影装置
: X線TV撮影装置
- ・その他 : 1階部分に健康管理センター併設

○フロア構成



○内観イメージ



1階 外来中央待合



1階 健康管理センター待合



2階 デイルーム



2階 リハビリテーション

○案内図



【交通アクセス】 ○JR : 札幌駅から特急で1時間11分
登別駅下車 徒歩9分
○高速バス : 札幌から1時間30分
○車 : 道央自動車道 札幌南インターから1時間
登別東インターから3分